

「がんばろう、なとり」 No.3

東日本大震災 名取市支援活動報告

2011.4.14

本日はとても天気がよく、気温も20度ぐらいまで上がり、作業をしていると汗ばむ陽気でした。道端には桜の花も開花し始めています。

相変わらず余震は頻繁に起きており、体に感じる地震だけでも一日に何度も発生しています。このことは、避難所で過ごしている皆さんを始め、東北地方の多くの皆さんが、未だ一日中、心を休めることができない大きな要因となっていると思います。

私たちは、支援活動のため名取市に来るに当たっては、安全の確保は前提ですが、一定の危険の可能性があることは覚悟してまいりました。しかし、実際に、被災地の様子を目の当たりにし、夜中にも発生する余震を体験しているうちに、その覚悟を自分に何度も言い聞かせなければならなくなることがあります・・・。

被災地の方々の気持ちや感覚が、少しずつではありますが沁みってきています。

そんな中、人からもらう優しさや力が、大きな支えであり大切なことだと実感しています。



石狩市から「支援物資」と「図書館資料の整理用 段ボール」などが届きました。



名取市職員と地元ボランティア



無償で提供されたトラック

昨日(13日)石狩市で積み込んだ荷物は、支援物資は大人用オムツが75箱、乾電池6箱、ウェットティッシュ8箱、ボックスティッシュ1箱、さらに図書館資料の整理用の段ボール2,000箱が、本日届きました。

荷物を積んだトラックは、13日午後4時に石狩を出発した後、苫小牧港を午後7時に出航、本日(14日)の午前10時に仙台港に到着、支援物資受け入れ先の市体育館に午前11時に到着しました。

トラックに乗車してきた2名の方も率先して荷降ろしをしていただきました。



体育館には全国からの支援物資

体育館では全国から寄せられる支援物資の荷降ろしや種分け作業を市職員やボランティアが行っていましたが、石狩市からの支援物資の搬入も手伝っていただきました。

その後、図書館に移動し、図書館資料の整理用の段ボール2,000箱を下ろしました。こちらにはボランティアがいなかったため厳しい作業となりました。



2千枚の段ボール



窓からの搬入

今日も 地元のおはなしボランティアの方と いっしょに！

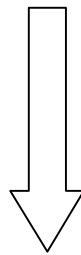
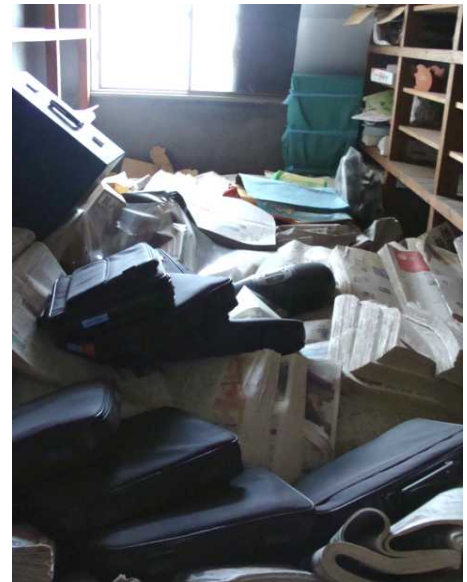
昨日も訪問した館腰児童センターに、今日も行ってきました。
今日も子どもたちは喜んでくれました。こちらも嬉しくなってしまう。
もう一つ嬉しかったことは、地元のボランティア（おはなしボランティア「キラキラ」）の
皆さんとともに連日実施できたことです。とても意義があることではないかと思いました。

図書館2階の整理にも着手

1階は通路の確保などを行い、何となく先が見えそうな兆しを感じますが、2階は全くの手つかず状態。

少しでも整理を始めると、今後、ボランティアの力を借りるなどして本格的に整理に取り組むことができるのではないかと考え、勇気を持って始めてみました。

ほんの少しかもしれませんが、希望の光が見えてきたような気がしました。



2階の一角に輝きが



最初に見た時は、手をつける気には
なれそうもなかった新聞収蔵庫

編集後記

おはなしボランティア「キラキラ」の方が、自ら牛乳パックで作った「ももたろう」を館腰児童センターの子どもたちに優しい笑顔で披露し、子どもたちの笑顔も輝いていました。絵本を読み聞かせる情熱は名取市、石狩市と土地が違っていても同じであると実感した場面でした。